

《参考図書を使って世界や日本のできごとを調べる！！》

参考図書 (reference book) とは…

特定の知識や情報について調べることができるものを参考図書とよんでいます。小説などとは違い、必要なところだけ読めば用が足りる、たとえば、事典、辞典・図鑑・年鑑・便覧・白書などです。

図書館では、これらの本は館内での利用のみとし、必要な時にいつでも調べられるようにしています。



『20世紀年表：The chronicle of 20th century』

毎日新聞社 1997年

毎日、TV、新聞、インターネットでは、世界の出来事がニュースとなって流れてきます。

「温故知新」というように、今日のニュースは、歴史を知れば、また違った見方ができるようになります。歴史はつながっています。20世紀がどうだったのかを知るための、最適の1冊といえます。

政治、経済、事件など、1900年から1996年までの詳細な年表のほか、TVやラジオ、映画、漫画、流行語やベストセラーの記事もあり、時代風俗などもよくわかるようになっています。冒頭、カラー写真の蓄音機、カメラ、飛行機、自動車、公衆電話機の一覧は技術開発の歴史が感じられますし、本文下段に並べられた写真も、小さいモノクロですが、その年、時代を象徴するものがセレクトされ、眺めているだけでも楽しめるつくりとなっています。

巻末の索引が充実していて、調べやすく便利な年表です。

『20世紀年表』で調べてみました ①

問 日本の第一回国勢調査が行われたのはいつ？結果は？

答 大正9年(1920)10月1日

内地人口 5596万3053人

外地人口 2102万5326人

東京市 369万9428人

大阪市 258万7847人

国勢調査説明のため巡回する宣伝自動車の写真もあります。

大正14年(1925)の第2回国勢調査では、初の失業統計調査も実施されたとあります。

失業者 10万5595人

(索引【国勢調査】から)

『20世紀年表』で調べてみました ②

**問** 今、神戸市立中央図書館のある「大倉山」を開発した大倉喜八郎の没年は？

**答** 昭和3年（1928）4月22日

天保8年（1837）10月23日、新潟の豪商の家に生まれる。明治6年（1873）大倉組商會を設立、維新政府御用商人として成長し、一代で大倉財閥を築き上げた。

（索引【大倉喜八郎】から）

この資料には、誕生した人の名前、冥友録で物故者名が記されています。詳しい解説がある冥友伝の内容は他の人名事典にも劣らないくらい充実しています。

～ こんな本でも調べることができます ～

『10大ニュースに見る戦後50年』

読売新聞社 1996年 [2176=M6]

年末の10大ニュースは、その年を表す象徴です。1947年（昭和22）から1995年（平成7）までその年のランキングを20位まで収録し、10位までには解説文がついています。流行歌、人気本、流行語なども収録しています。

『昭和・平成史年表：昭和元年から平成20年までの近現代史』新訂版

平凡社 2009年 [217=N9]

政治・経済・国際・文化・社会・世相とジャンル分けした構成。世相は短文により解説しています。平成7年の世相として「阪神・淡路大震災での心の病が増加」「<ら抜き言葉>は認めない」などがあげられています。巻末の「昭和・平成世相データ」では、本のベストセラー、映画キネマ旬報ベスト1、おもなテレビ番組一覧、日本レコード大賞一覧、家電略年表、大相撲歴代横綱、プロ野球のホームラン王と最多勝利投手名などの一覧が楽しめます。

調べてみよう！！

- ルービックキューブが大流行したのはいつ頃？
- 日本では消費税っていつから導入されたの？
- 昭和39年の前にも東京オリンピックが開かれる予定だったの？
- 国会で「バカヤロー」と叫んだ首相がいたってホント？で、それからどうなったの？



まずは、紹介されている参考図書を調べてみましょう。

中央図書館3階の「参考図書コーナー」へ！！

図書館の本は、本の背に内容がわかるよう分類のラベルが貼ってあります。世界史のことは【2097】、日本の昭和史は【2167】を探すといいですよ。場所がわからないときは、カウンターの人に聞いてくださいね。